

～ 豊川用水の節水対策の強化について ～

豊川流域では、1月から流域で降水量が少ない状態が続いており、河川の流量が減少しています。

4月に入ってから河川流況の改善が見られず、厳しい水源状況となったことから、4月23日9時から豊川用水では、第2回節水対策（農業用水10%、水道用水10%、工業用水10%）を実施しています。

その後、4月24日～25日に降雨があったものの、4月の累計降水量は豊川用水受益地5地点（牟呂松原頭首工、万場調整池、芦ヶ池調整池、初立池及び駒場池）で89mm（平年149mm）であり、独立行政法人水資源機構が管理する豊川用水水源（宇連ダム、大島ダム、地区内調整池）からは各用水の必要量を河川に補給し続けており、4月25日0時の総貯水量は17,229千m³、有効貯水量51,820千m³に比べ約33%となっています。

今後も、まとまった降雨がなければ、河川流況の改善がなされず、更に厳しい状況となることから、本日（4月25日）開催した独立行政法人水資源機構と豊川用水関係利水者で組織する第3回豊川用水節水対策協議会では、豊川用水の節水対策の強化について、次のとおり決定しました。

豊川用水の節水対策

- ① 節水開始日時：平成31年4月26日（金）午前9時から
- ② 節水率：農業用水15%、水道用水15%、工業用水15%
- ③ 節水対象者：愛知県企業庁、静岡県企業局、豊川総合用水土地改良区
牟呂用水土地改良区、松原用水土地改良区
湖西用水土地改良区

豊川用水総合事業部では、引き続き、渇水対策本部を設置しています。

平成31年4月25日

どくりつぎょうせいほうじんみずしげんきこう

独立行政法人水資源機構 豊川用水総合事業部

発表記者クラブ

豊橋市政記者会

問い合わせ先



独立行政法人水資源機構 豊川用水総合事業部

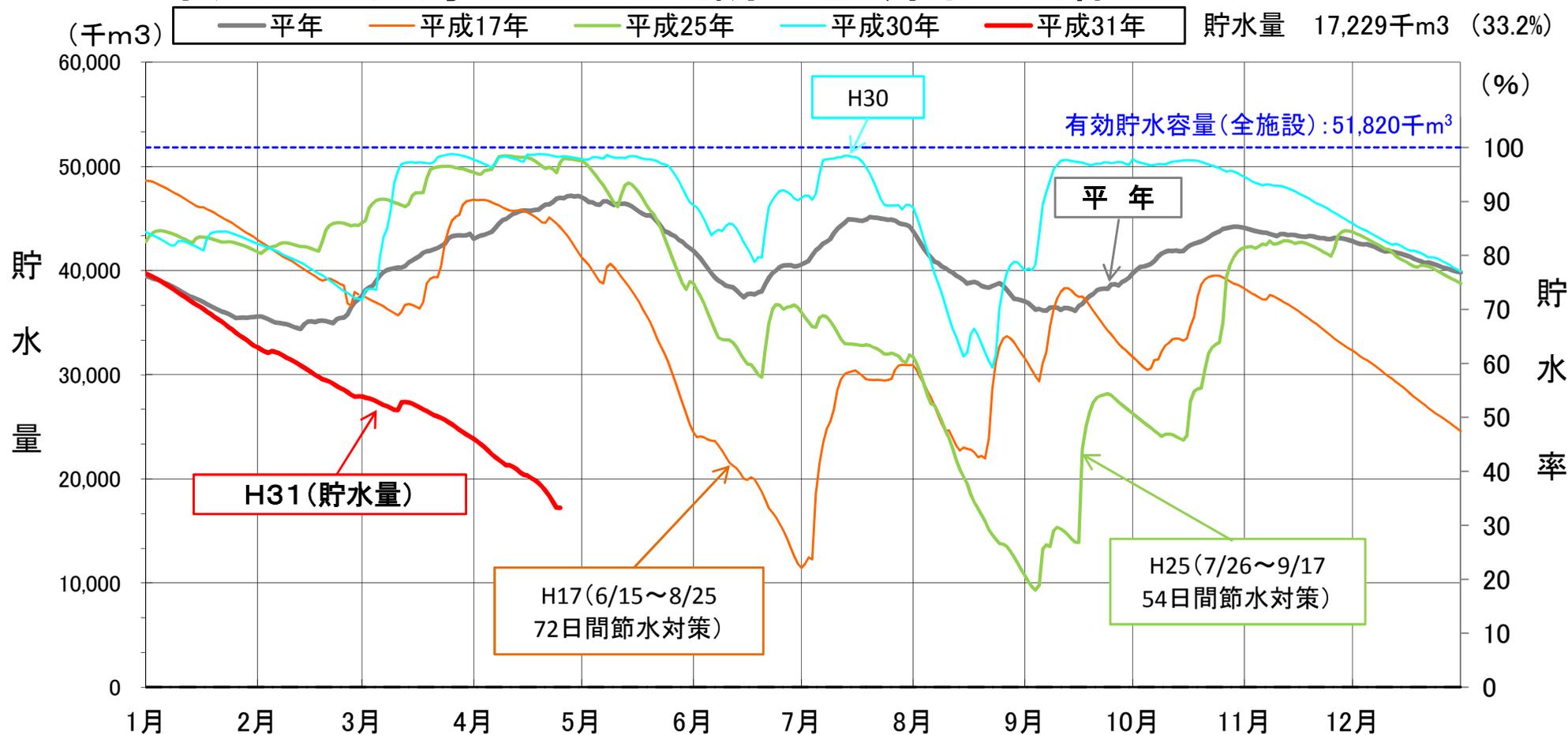
総務課長 大牧（おおまき）、管理課長 大木（おおき）

住 所：愛知県豊橋市今橋町8番地

電 話：0532（54）6501

宇連ダム・大島ダム・地区内調整池 貯水量曲線

平成31年4月25日 0時現在



※平年値は平成14年～平成30年まで17年間の平均値

※平成17年、平成25年は、近年発生した渇水年

豊川用水受益地内5地点の平均降水量と平成31年降水量(平成31年4月25日 0時時点整理)

	月	1月	2月	3月	4月
受益地内5地点 平均 (牟呂松原頭首工、万場調整池、 芦ヶ池調整池、初立池、駒場池)	平年降水量	52mm	81mm	128mm	149mm
	平成31年	14mm	58mm	63mm	89mm
	平年比	27%	71%	49%	60%

※平年降水量は平成14年～平成30年の17年間の平均値

宇連ダムの貯水池状況

満水時の宇連ダム貯水池



現在の宇連ダム貯水池



大島ダムの貯水池状況

満水時の大島ダム貯水池



現在の大島ダム貯水池



宇連ダムの貯水池状況(堤体下流から)

平成31年4月23日撮影



宇連ダムの貯水池状況(堤体上流から)

平成31年4月23日撮影



豊川用水の水源地状況について（情報提供）

豊川水系では、1月から流域で降水量が少ない状態が続いており、河川の流量が減少しています。

4月に入ってから河川流況の改善は見られず、厳しい水源地状況となったことから、豊川用水では4月12日9時から第1回節水対策を開始、さらに4月23日9時から第2回節水対策を開始し、節水対策を強化しているところです。

昨日から本日にかけて、宇連ダム地点ではまとまった降雨がありましたが、今後の水源地状況等を見据え、明日9時から第3回節水対策を開始し、さらなる節水対策を強化することにしました。

豊川用水水源地（宇連ダム、大島ダム、地区内調整池）全体の総貯水量は、本日0時時点で17,229千 m^3 、有効貯水量51,820千 m^3 に対し約33%となっております。今後の気象状況により水源地の状況は変わりますが、このまま降雨が見込まれない場合、宇連ダムは5月上旬にかけて枯渇する恐れがあります。

なお、豊川用水の水運用は大島ダムも含めた豊川用水の水源地全体で行っていることに加え、5月から9月の間は一定条件の下で天竜川からの導水（佐久間導水）も水源地として利用可能となります。このため、宇連ダムが枯渇した場合でも直ちに水供給が止まるものではありませんが、皆様には一層の節水をお願い致します。

今後とも、限られた水資源を有効に活用するようご理解とご協力をお願いします。

平成31年4月25日
独立行政法人水資源機構
豊川用水総合事業部